

2024年8月2日

## 「統合報告書 2024」と「サステナビリティレポート 2024」を発行

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、本日、「住友金属鉱山 統合報告書 2024」と「住友金属鉱山グループ サステナビリティレポート 2024」を発行しました。財務情報・非財務情報の報告早期化の社会的要請に応えるため、発行時期を昨年度より約2カ月早めました。

住友金属鉱山は、事業活動の情報開示において、グループの価値創造プロセスを中心に財務・非財務両面の情報をまとめた統合報告書と、詳細なデータを含め幅広い非財務に関する情報をまとめたサステナビリティレポートの2冊を発行しています。

2024年発行の両報告書では、住友金属鉱山グループが事業を通じた社会課題の解決に向け従来取り組んできたことに加え、2024年6月に就任した新社長が経営に込める変革への考えも記載されています。

住友金属鉱山は長期ビジョン「世界の非鉄リーダー」実現のため、グループが中長期的に目指す方向性を「2030年のありたい姿」として定め、具体的な事業活動を中期経営計画に基づき実践することで、社会の持続的発展への貢献と、企業価値の向上を目指しています。今後もこれらの方向性に沿った財務・非財務の情報開示の充実を図ってまいります。

### <住友金属鉱山 統合報告書 2024 のポイント>

- 住友金属鉱山の特長である「3事業連携」(※)を詳述するとともに、各事業の競争優位性についても記載しています。
- 事業遂行上、重要な無形資産の強みを伝えるため、「研究開発」「人材戦略」「DX」に関する情報を開示しています。
- ステークホルダーからの要望に対応した「カーボンニュートラル」「尾鉱ダム管理」「人権」に関する特集を設けています。

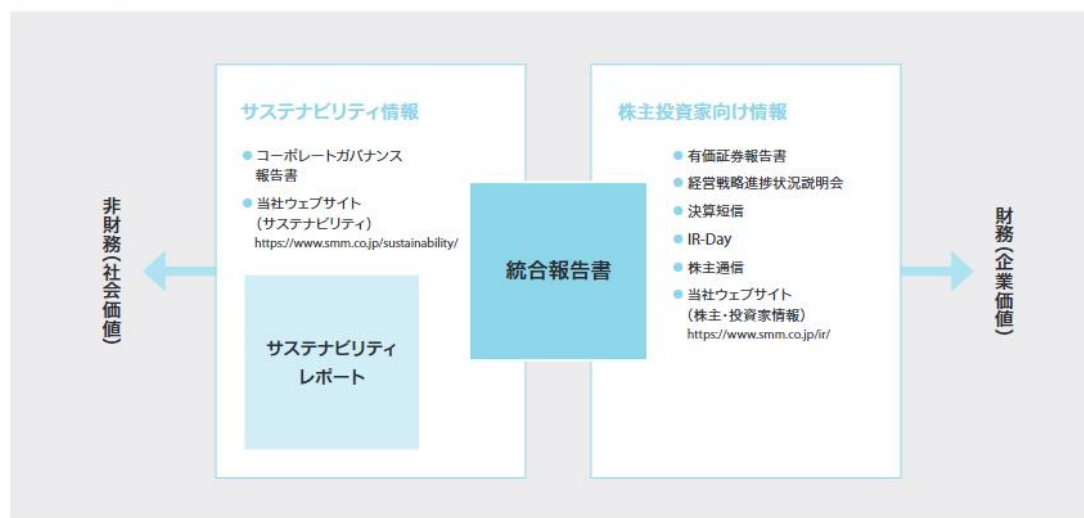
### <住友金属鉱山グループ サステナビリティレポート 2024 のポイント>

- 社長を委員長とするサステナビリティ委員会のサステナビリティマネジメント体制についての詳細を記載しています。
- 国際的な非財務情報開示基準（GRI Universal Standards）に準拠した情報を開示しています。
- 所属する業界団体である国際金属・鉱業評議会（ICMM）が定める原則等の遵守状況を開示しています。

(※) 鉱山開発・運営を行う「資源事業」、鉱物資源から金属素材を生み出す「製錬事業」、素材に新たな価値を付加する「材料事業」の3事業が有機的な連携を図り、資源開発から製錬、高性能材料の生産までを一貫して行うビジネスモデル。



■ 情報開示体系



<ダウンロード URL>

統合報告書 [https://www.smm.co.jp/ir/library/integrated\\_report/](https://www.smm.co.jp/ir/library/integrated_report/)

サステナビリティレポート [https://www.smm.co.jp/sustainability/library/sustainability\\_report/](https://www.smm.co.jp/sustainability/library/sustainability_report/)

※英語版は9月下旬発行予定

以上

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705